

町史編さんだより

第18回

『小泉八雲の伝説で知られる中菅地区』

～『じげの宝』シリーズ vol. 6～

『町史編さんだより』の18回目は、政治・行政・教育小委員会が、地域の特徴や活動、行事、祭り、昔話、自慢などを聞き取り、紹介する「じげの宝」をお送りします。



▲にぎわう滝山公園（平成8年）



▲地域を見守る不動尊（不動ヶ嶽）



▲マツタケ祭りでは地区の有志がもちつきで歓迎（平成10年頃）

誇れる名所・滝山公園

中菅地区は、中菅、中菅中央、近江・畑の集落（自治会）で形成され、現在（平成27年国勢調査）の人口は76人（41戸）です。

地区内にある滝山公園は、ミツバツツジが群生し、4月中旬から5月上旬にかけて20畝の山々をピンク色に染める観光スポット。大勢の花見客が訪れる日野町の名所の一つです。一方で、地元民はツツジの保全にも代々にわたって携わってきました。

昔は、臨時列車も運行され、小中学校の定番の遠足地で黒坂駅から公園まで集落内を通る約2kmの道に、花見客の長い列が春の農作業の中で見られたそうです。それが臨時バスとなり、今はマイカーに変わりました。

ところで、滝山公園の奥手には滝山神社が鎮座し、その裏手には落差約50mの龍王滝が水しぶきを舞いながら、神秘的に流れ落ちていきます。春祭りはツツジの開花時期と重なる4月29日で、神輿も出ます。また、秋祭りは旧暦の8月1日で「八朔祭り」と呼ばれ、昔は屋台がたくさん出てにぎわったとか。また、龍王滝に打たれて無病息災を願う多くの老若男女の参拝者があり信仰のあつい神社であるということです。

龍王滝にまつわる伝説の一つとして、小泉八雲の「幽霊滝の伝説」があげられます。集落の若い嫁が仲間の話にのって、神社の賽銭箱を持ち帰ったところ、背負っていた2歳になる子どもの首がなくなっていたという怪談です。

この伝説は、先般NHK・BSプレミアムの中で、全国

の怪談話の一つとして放映されました。

一昨年には、地元有志がこの怖い伝説を逆手にとって、小泉八雲のひ孫にあたる小泉凡さんを招き、「怪談ナイト」というイベントに取り組みしました。

これが縁で、小泉さんゆかりの島根県立大学の学生がかの地に訪れるようになり、地元の人たちとの交流も始まりました。

また、滝山公園は、紅葉も有名で平成7年から10年間「滝山公園紅葉マツタケ祭り」が開催され、地域周辺の方がスタッフとして活躍しました。近年は、公園内の草刈りボランティアに多くの地元住民が参加され、地域の公園として守られています。

尼子氏と毛利氏の合戦場・不動ヶ嶽

中菅にはもう一つ、尼子氏と毛利氏の合戦場として

知られる不動ヶ嶽（集落から750m）があります。ここには不動尊がまつられ信仰の霊場として、戦時中は武運長久を祈る人々のお参りが絶えなかったといえます。

ところがある時、不動尊が行方不明になったので、地域住民がご利益を願い昭和60年に勧請しました。地域では不動ヶ嶽に通じる道の草刈りなどを行い、旧暦の6月18日には法要が営まれ、地域の安泰を祈願しています。

畑集落は、上菅地区に近く、都合山たらの生産が盛んだったころは多くの労働者が住んでいたとか。その証拠に、平成元年に広域農道が整備されたとき、たたら職人を葬ったであろう人骨がたくさん出てきたとのこと。

聞き取りに集まっていた皆さんから、風光明媚な滝山公園は守り育て行かなければとの熱い将来へのメッセージをいただきました。また、有志のグループ「天郷坂に集まる会」は、滝山不動市など地元の利を生かしたジゲおこしにも取り組んでいます。

（松本利秋Ⅱ政治・行政・教育小委員会）

読んでみたらんかな～

職員が勝手に
スス×ス1冊♪
"今読みたい本"が
見つかるかも!?



『料理のコツ解剖図鑑』

豊満美峰子 監修 / サンクチュアリ出版

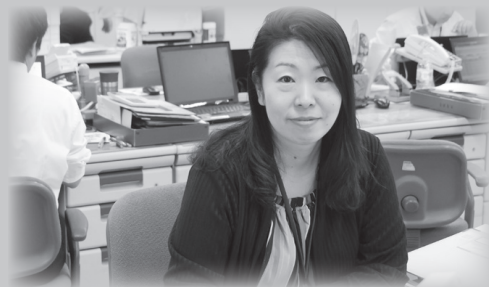
「料理のコツ解剖図鑑」は、忙しい時にはとばしたり、何のためにやるのかよく分からないからやらなかったりする小さなコツの科学的な理由が書かれています。祖母や親、先生から聞いた、やってもやらなくてもよさそうなコツがおいしさを作っていて、なぜそのコツが必要なのか、おいしくなる訳が解説されています。

料理は実験。結果もすぐに出ますから、短気な人にもぴったります。レシピに載っていないコツを押さえておくと、日々の食事でもおいしいものを食べることができる確率が格段に上がりますよ。



この本を紹介して
くれたのは…

住民課 稲田いずみ 副主幹



カエル管理職として、駐車場等でエサの確保に奮闘。今年6月に下樓の加藤さんから分けていただいた金のオタマジャクシ3匹から育ったカエルなど、合計7匹を役場で飼育中。現在、冬眠させるべきか悩んでいる。

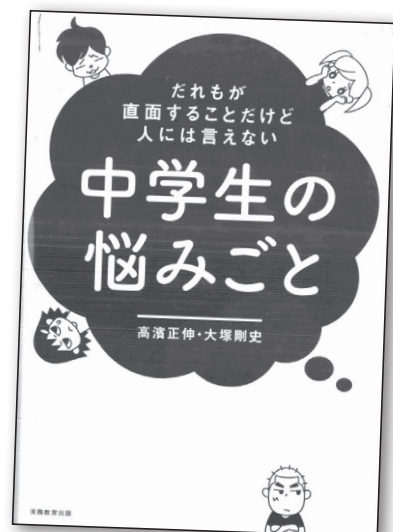
『中学生の悩みごと』

高濱正伸・大塚剛志 著 / 実務教育出版

昔、中学生だった人にもおすすめ。秋の夜長に自分に向き合ってみては。

100個の「中学生からの質問（悩みや相談）」に、本音で答えることで、幸せになるために必要なことは「自分で考え、行動し、成長（変化）してゆく」ことだと気づく本。

時代が変われば、価値観も変わります。生き残ることができるものは、強いものではなく変化に対応できるもの。本質を突いた質問に真摯に答える、正解のない哲学の世界をご体験ください。晴れたる秋空のようにスッキリとはいかないまでも、心が軽くなります。



教育委員会からのお知らせ

【教育委員会】

・議事として

▼日野町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について承認されました。

▼日野町立学校職員の服務に関する規定の一部を改正する規定の制定について承認されました。

・その他

▼平成29年度下期保育所・学校訪問、学校給食等における食物アレルギー対応指針の改定などに

10月3日に教育委員会および総合教育会議を開き、次の案件などについて報告・協議されました。

・ ついて、報告がありました。

《次回の予定》

▼教育委員会

日時：11月2日（木）午後1時

場所：役場第1会議室

※会議は公開しています。お気軽にお出かけください。

【第2回総合教育会議】

▼各学校の学力向上の取り組みについて協議されました。